



大

雪のせいで韓ドラにはまってしまう。妻を始め周りの女性たちが熱心に見はじめようになっても見る機会はあったのに、「冬ソナ」も「チャンナム」も何一つ見てこなかった。理由は、やたらと長い、美男美女のラブロマンスばかり、という先入観がずっとあったからだ。関心がないとはおそろしいもので、妻が目の前で見ていて、銃声やら甘い旋律やらとともに韓国語がけつこうな音量で流れ続けているのに、これまでまったく気にとめないでいられた。

それがここに来て見てみようかという気になった。仕事はキャンセル、外出もままならぬとなれば、やらと長いのかえって好都合、ためしに見てみて合わないと思えばやめればよいというだけのことだし、などくどくどと考えた末に、意を決して見ることにした。

何を見たらいいのかさっぱり分からなかったので、ベテランの妻からいくつか候補を聞き、「お父さんならこれがいいんじゃない」と勧められたものを手始めに見てみた。

窓の外で雪が降り続けているのをいいことに、一話また一話と見続け、十六話を三日で見終わってしまった。そして心底驚いた。いや、もう第一話から、なんだこの完成度は、なんでこんな精緻な脚本が、なんで

俳優がみんなこんなに演技力があるんだ、と疑問ばかりが次々と湧いてくる。度肝を抜かれてしまったのだ。見終わったときは、ちょっと放心状態になったうえ、夢の中でもいくつかのシーンが再現された。

ぼくは決して日本のテレビドラマの熱心な視聴者ではないのだが、それでも彼私のレベルの違いは分かる。いつの間にかこんなに差が開いてしまったのか。欧米のドラマに比べても、構成の大胆さとかサイドストーリーの厚みなど韓ドラが勝っていると思った。今になって気づいたか、と言われておしまいなのだけれど、勤めている間は見る時間もなかったから、遅きに失したとは思わない。妻に言わせると「韓ドラだっしょうもないのがいっぱいあるよ」ということだから、そんなものに手を出さずとも、名作のみ選んでも十分数があるというのがありがたい。

一つのドラマを作るのに、どれだけたくさんの人が関わるのか想像もできないけれど、一人二人の傑出した才能があったところでできるものではないだろう。たくさん人の才能や情熱の集積がないとあんなドラマは作れるものじゃない。日本が追いつくには、仮にそう願ったとして、何十年とかかるのではないか。

大雪は一週間で片が付いたが、韓ドラは当分片付きそうにない。

専業ババ奮闘記 (その2)134

木幡智恵美

コロナ感染 (2)

五月二日以降に娘と接した者が濃厚接触者に当たるとの噂だ。娘の一家と夫が該当する。忠ちゃんの実家に行つて大津ジジに会ったのが二日で、大津ジジにも検査を受けてもらうとのこと。我が長男は前日一日に娘の家を訪問しているから濃厚接触者には当たらないが、念のために検査するよう連絡を入れた。

娘の部屋のベッドで目覚めた朝、昨夜に続き、朝食もそれぞれ別の部屋で摂る。娘から食料など買ってきてほしいと連絡を受けたので息子に相談すると、「親父が濃厚接触者で、お袋も俺も自宅待機なのに、買い出しなんかできんだろう」とのこと。断りの連絡をすると、「そうだね。じゃあ、職場の人に頼んでみるわ」との返事だった。何かしてやりたいけれど、こちらも同様身動きが取れないので致し方ない。その日、娘の家では、忠ちゃんが発熱し、寛大が嘔吐したようだ。我が家の面々で不調なのは微熱とのどの痛みがある私だけ。一番陽性の確率が高い夫は、風邪の症状もすつかり消え、何ともない様子。それでも、すでに感染しているかもしれない、各々が食事の準備をし、別々の部屋で食べ、接触しないようにしている。個食という一時よく聞かれた言葉が頭をめぐる。夕方、夫は抗体検査を受けに行った。

どの痛みがひどくなり、その夜はのど飴を口に入れて横になつたが、何度も目が覚めた。朝ご飯を個々別々の部屋で食べ終わると、「もう耐えられん。バイクで走つて来るわ。バイクなら人と接触しないから」と、息子は出て行った。午前中、娘からメールが入り、寛大以外全員陽性だったとのこと。その日の感染者は県全体で百二十七人、松江四十八人。この中に忠ちゃんや実弟、宗矢が入っているのかと思うと、これまでたの数字だったのが、妙に肉付き、親しみを帯びたものを感じられるのが不思議だ。

息子は午後になって帰つて来た。ひたすらバイクを走らせ、広島まで往復三百キロ走つたとのこと。夕方になって、保健所から夫に電話があり、かなり長い問話していた。結果は陽性。濃厚接触者である私と息子は、翌日抗体検査を受けることになった。夫が娘の家から帰った日、夫と二人で夕食を摂っている。私が陽性なのは確実だろう。

30代フリーター 1千億円ともいわれるバレンタインチョココレートの市場規模が映し出すギフト市場の成長ぶりを見てみると、未開な時代に盛んだった贈与と返礼の互酬制が部分的に復活しているように感じられる。

年金生活者 その復活は市場経済という最新のシステムに支えられていることを忘れるわけにはいかない。

古いものの復活は、新しい基盤に支えられて可能になる。再生可能エネルギーは太陽光や風力など太古からのエネルギー源を使う点で復古的だが、その設備をつくる段階では化石燃料の使用が避けられないし、電力を供給する段階でも火力発電か原子力発電によるバックアップが必要となる。エネルギー変換効率が低いうえに、天候に左右されやすい再生エネルギーは安定供給が難しいからだ。

自然の保護とか、自然の再生とか、自然との触れ合いとかといったことについても同様のことが言える。それを実行しようと自然の中に入っていくだ

けでも、移動のための交通機関を使い、化石燃料を消費する。

30代 太宰治の「駆込み訴え」でユダがイエスの行った奇跡のからくりを暴くところを思い出させる。

「あの人は（中略）五つのパンと魚が二つ在るぎりの時でさえ、目前の大群集みなに食物を与えよ、などと無理難題を言いつけなきて、私は陰で実に苦しいやり繰りをして、どうやら、その命じられた食いのを、まあ、買って調えることができるのです」

古いものが新しいものに支えられ、自然が人工に支えられているとしたら、イエスの奇跡がユダの労力に支えられていたのと似たところがある。

年金 それでも「復古」は人間のやみがない。胎児の時代に暮らした母胎の楽園への復帰が人間の生涯にわたる願望であるように。古いもの、あるいは自然への回帰には新しいものの到来が必要だとすれば、歴史をあと戻りさせるのではなく、前に進めることが必須

となる。

30代 今世紀の思想潮流のひとつに「加速主義」と呼ばれる主張がある。ウェブ上の事典には「資本主義をどんどん加速させて推し進めることによつて、資本主義とは異なる、さらにその外側にある境地に世界を到達させることをもくろむ立場」とある（「ニコニコ大百科」）。歴史を前に進める有力な思想かもしれない。

年金 資本主義は発展し尽くすまで終わらないことが確かだとしても、その発展は一直線には進まない。格差の拡大を資本主義の発展とみなすなら、国家は富の再分配によつてそれにブレーキをかけてきた。資本主義の発展を人為的に加速させるとしたら、国家がそれを担う以外にないが、富の再分配を存在理由のひとつとする国家は加速の一方で減速もせざるを得ない。

そればかりか歴史は減速なしに加速もあり得ない。20世紀の社会主義圏の成立は、資本主義の発展を阻害したように見えるかもしれない。だが、東西

冷戦が終わったとき、社会主義圏は資本主義に不可欠な新たなフロンティアとして世界市場に登場し、グローバル化の原動力のひとつとなった。いま振り返ると、まるで社会主義諸国はこのときのために、安く高性能の労働力を再生産し続けてきたかのように見える。

30代 古いものの復活は新しさに支えられて可能になるとしたら、その新しさを人間はどうやってつくりだすんだ。

年金 未来が白紙である以上、過去にモデルを求めるほかない。すなわち復古を通して新しさを実現するしかない。新しさによつて古さを呼び戻し、古さによつて新しさをつくり出すという循環が歴史を前に進める。そのさまをマルクスはフランス革命に見た。

「そこで、人間は、自分自身と事物とを变革する仕事、これまでになかったものをつくりだす仕事にたずさわっているように見えるちやうどそのときに、まさにそういう革命的危機の

ニュース日記 866
中村 礼治

古さと新しさ

打倒からナポレオン第一帝政までのフランスの革命が「ローマ共和国の服装とローマ帝国の服装を代わるがわる身にまとった」と書く。アンシャン・レジームを否定し、古代のギリシャ、ローマに新体制のモデルを求めたこの革命の過程で、かつてギリシャ、ローマ人が着たチュニックやキトンのような服が普及したことを指していると推察される。

30代 そういえば、古いものに理想のモデルを求める考え方を徹底させた思想に中国の儒教がある。

年金 社会主義という先進的なヨーロッパ思想を掲げる中国がいま孔子を再評価し、習近平を皇帝とする「帝国」として復興を遂げたことにそれがあらわれている。ただし、その前近代性がグローバル資本主義という新しさに支えられたものであることを見れば、中国もまた古さと新しさの循環の例外ではあり得ないことがわかる。さらにつけ加えるなら、明治維新もまた。